

## 第4回単P会長会ルームトーキングのレポート集計

ルームトーキング参加者 28分科会 / 215名  
レポート提出 18分科会 (147名)

### 取り上げられた話題(カッコ内は分科会数)

- ・役員選考(18)
- ・PTA活動について(7)
- ・地域諸団体との連携(6)
- ・子どもたちの安全・パトロール(6)
- ・メールシステム(4)
- ・PTAの悩み(3)
- ・PTA行事への参加率アップ(2)
- ・少子化・学校統合(2)
- ・給食費・PTA会費未納(2)
- ・学校崩壊(1)
- ・会長職のあり方(1)
- ・PTAの飲み会(1)
- ・地区PTAの行事(1)
- ・PTA OBについて(1)
- ・子供の学校生活についての悩み(1)
- ・今、親に求められていること(1)
- ・モンスターペアレント(1)
- ・女性会長としての悩み(1)

### 興味深い事例等

- ・総会を授業参観後ではなく音楽発表後に行ったところ、P会員数500名中400名の参加があった。
- ・総会を授業参観と学級懇談の間に行ったら、参加数が増えた。
- ・これからは、PTA・学校・教育委員会等が定期的に話し合いの場を持つべきである。
- ・PTA活動活性化策(玉浦中)・・・年1回「校庭で大いも煮会」。今年は「大とんちゃん会」をしたい。PTA役員の視察(校長先生の出身小・中学校)研修計画あり。
- ・選考委員会で選出され総会に諮ったところ、その場で別の人突然立候補し、結局その人が就任した。
- ・児童は登下校時、名札を外して「通学中」と書いてあるカードを首に下げている。裏には「SOS」と書いてあって、何かあった場合はカードを裏にして助けを求める。
- ・中学生に地域のお祭りを任せている。(失敗したときのフォローも大切。)
- ・町P連で合同で体育祭を行っている。
- ・中学校の文化祭で豚汁の提供をしている。・・・親と先生と一緒に作り、生徒にふるまう。
- ・児童の送迎におじいさん・おばあさんが多いので、ランチルームを開放し、校長先生等も混ざったりしながらお茶のみして、子供を待ってもらっている。
- ・「職員室から変わろう」運動・・・児童は朝必ず職員室にあいさつしてから教室に行く。職員室の窓を全開にして先生方からあいさつする。職員室にいすとテーブルがあり、お茶とコーヒーを出してくれる。
- ・保護者から子供へ(中3生・卒業式の日に渡す)手紙を書く。(他メンバーから賛同の意見あり)
- ・県Pの会長・副会長・役員選考方法について知りたい。明確な規定で実施して欲しい。
- ・県Pの行事が多すぎる。
- ・県P本部から単Pの活動にヒントになる事や参考資料・意見をもっと出して欲しい。
- ・今後ハード面よりソフト面の充実を図って欲しい。
- ・各通達文等は経費節減のためメール配信にしてはどうか?

アンケートと同様、単P会長会についてのご意見もあり。

ex. 班長役について事前に連絡が欲しかった。

地震の際の対応をして欲しかった。

日程に不満・・・中学校の県総体と重なって大変だった。

ルームトーキングは楽しかった。

## メールシステムについて

一言で「メールシステム」と言っても、方法・配信内容等様々である。

### 《システム・方法等》

- ・業者に委託。
  - 年間30000円位かかるので、バザー収益で賄っている。
  - 見積りの結果、100万円掛かると言われ断念。
  - 個人情報を守るため年間費用15000円～位掛かっている。
- ・教育委員会に登録して、その人にものみ配信。
- ・単位PTAとして導入し、現在では市の教育委員会が取り組み、市P全体で配信を行っている。
- ・学校単位で配信。
- ・先生の携帯電話からサーバーにアクセスして配信。・・・地震時、電話は不通でも配信できたので良かった。
- ・携帯電話を持たないP会員のために、携帯電話を持っているP会員から持っていないP会員への情報伝達体制（電話連絡等）を作った上で、導入した。

### 《配信内容等》

- ・学校発信の内容の配信は不可（教育委員会に登録して配信の場合）
- ・不審者や災害等緊急性且つ子供の安全に関わる事以外は配信しない。（外部業者委託の場合）
- ・夏休みのプール解放の有無・運動会の開催決定の情報・下校時刻のお知らせ・その日の学校での子どもたちの様子・修学旅行速報など、事細かに配信。（学校単位の配信の場合）
- ・学校全体の情報の他、学年単位の情報も配信している。

### 《その他》

- ・P会員は任意で登録。
- ・携帯電話を持っていない人もいるので、PTA会費からの支払いは難しいと思われる。
- ・アドレス管理はセキュリティー面で難しいのでメール会社に委託している。個人のアドレスは学校でも分からない。
- ・メール配信運営後に、携帯電話を持っていない又は登録していないP会員から、登録している人だけ50円か100円の自己負担をしてはどうかとの声が上がった。
- ・賛成の可否をあまり気にしないで、メールシステムを作った。
- ・メールシステムについては、本部役員が一丸となって推し進めるのが一番の近道ではないかと思う。
- ・配信が始まれば、その便利さにP会員もだんだん理解し始めてくるのが現状である。

以上